

# 花一輪パロディ篇

## キン区ブ

どうどうやつて「シギー大劇」を探  
してたもので、じょうか。キネ旬を読  
んだのじょか、アガシヤを見たのじょうか。  
いくつになつても子供がたののが映画  
馬鹿にしてね。

赤うり前売券のひとつ、文庫本の間  
にはさんでありました。  
笑ってやつておくんなさい。そいつが、そ  
の前売券一枚のかすかな重さが、今  
のシネマ自由区の胸にはすこしり鄉音  
くんでござります。ロードショウのビ  
ット作品に目をやるひとともなく  
観急りでまいりました。

行き急ぎ、観急ぎ、何を思つて  
とおっしゃるのもよくわかります。  
我めて下る一方の映画界で、  
とためらつて立ち止まり、やめ  
ようかな……と思案こかけた。

シネマ自由区  
グハーブの名前です。  
で、この上映会で、うを配つて、そんなん  
ルーフ。名の誰かをお見かけになりまことらう、  
その細い背中に、どうか優しい激励の言  
葉のひつもかけてやつておくんなさい……  
もう間もなく、野良猫ロックフェスティ  
バルの開幕になるよびです。

……御存知  
あります。お客様さんが来てくれませんでしてね。  
毎回、メンバーへんつきり白いスクリーンを  
眺めておりました。なんにも大き  
ことはできないもんでお客様にはパンフレットの枚  
渡してやりましてね。いま思うと夢みただけ  
企画が人のまわりを飛びかってましたけ



**野良猫ロック**  
**フェスティバル**

シネマ自由区 NO.4

12-14

